

山形大学紀要（農学）原稿執筆要項

山形大学紀要（農学）原稿執筆要項は、原稿執筆の際の指針として山形大学紀要（農学）投稿規程を補うためのものである。

1. 原稿の様式

- (1) 日本語原稿は、原則として文書作成ソフトウェアを用いて、A4判（タテ置きヨコ書き）、上下左右の余白20mm、文字サイズ11ポイント、42字×25行（2頁で仕上がり1頁に相当）で作成する。
- (2) 英語原稿は、原則として文書作成ソフトウェアを用いて、A4判（タテ置きヨコ書き）、上下左右の余白20mm、文字サイズ11ポイント、ダブルスペースで作成する。

2. 原稿の記述

- (1) 述語および記号は、各専門分野の学会が選定したもの、または、一般に慣用されているものを用い、特殊な用語や紛らわしい記号は使用しない。
- (2) 数式や化学式は、途中の演算や経過を省き、必要な結果のみを整理してわかりやすく書く。
- (3) 各種単位は、国際単位システムを使用する。
- (4) 頁数は、用紙の下、中央に記入する。
- (5) 行番号は、1頁ごとに、用紙の左余白に記入する。（図表は除く）
- (6) 日本語原稿の体裁は次のとおりとする。

日本語表題、日本語執筆者名、日本語所属、英語表題、英語執筆者名、英語所属、英語要約（Summary）、英語キーワード（Key words）、本文（〔例〕緒言、材料および方法、結果、考察、謝辞）、引用文献、図表（説明文を含む）の順を原則とする。

- 1) 原則として、当用漢字、現代かなづかいを用い、それ以外は使用しない。
- 2) 生物の学名はイタリック体の指定（細線のアンダーライン）をする。ただし、イタリック体で印字されたものについては、指定不要である。
- 3) 生物の和名はカタカナとする。
- 4) 外国の人名や地名等は、原語で表記する場合を除いてカタカナとする。
- 5) ギリシャ文字、上付きや下付き等の区別は、原稿に指定する。
- 6) 所属の異なる執筆者による共著の場合は、執筆者名と所属にアスタリスク（*）を付けて区別する。アスタリスク（*）は1人目から付ける。

【原稿1頁の脚注】

- 執筆者の現在の所属が投稿時と異なる場合は、現在：（英語の場合はPresent address:）に続けて現在の所属を記載する。
- 連絡先としてe-mailアドレスを記載することができる。
- 日本語キーワードを記載する。

以下に日本語原稿のイメージを示す。

肉豚におけるWet Feeding法が肥育成績と体脂肪性状に及ぼす影響

高橋敏能*・小林 満*¹⁾・萱場猛夫*・今田哲雄**

*山形大学農学部食料生命環境学科

**山形県養豚試験場

(平成23年9月1日受付・平成23年11月30日受理)

受付日と受理日は
委員会で記載する

Effect of a Wet Feeding System on the Results of Fattening and the Characteristics
of Adipose Tissue in Growing-Fattening Pig

Toshiyoshi TAKAHASHI*, Mitsuru KOBAYASHI*¹⁾, Takeo KAYABA*
and Tetsuo KONTA**

*Department of Food, Life, and Environmental Sciences,
Faculty of Agriculture, Yamagata University

**Yamagata Prefectural Experiment Station of Swine Husbandry

(Received September 1, 2011・Accepted November 30, 2011)

Summary

A wet feeder to which

Key words :,,,,

1 頁 脚注

1) 現在：秋田県大館農業改良普及センター

(Akita Prefectural Oodate Agriculture Development Office)

連絡先（高橋）e-mail：■■■■■@■■■■■■■■■

キーワード：.....,,,,

(7) 英語原稿の体裁は次のとおりとする。

英語表題, 英語執筆者名, 英語所属, 英語要約 (Summary), 英語キーワード (Key words), 本文 ([例] 緒言, 材料および方法, 結果, 考察, 謝辞), 引用文献, 図表 (説明文を含む) の順を原則とする。なお, 日本語表題, 日本語執筆者名, 日本語所属, 日本語要約, 日本語キーワードも記載すること。

- 1) 生物の学名はイタリック体の指定 (細線のアンダーライン) をする。ただし, イタリック体で印字されたものについては, 指定不要である。
- 2) ギリシャ文字, 上付きや下付き等の区別は, 原稿に指定する。

- 3) 所属の異なる執筆者による共著の場合は、執筆者名と所属にアスタリスク（*）を付けて区別する。アスタリスク（*）は1人目から付ける。

【原稿1頁の脚注】

- 執筆者の現在の所属が投稿時と異なる場合は、Present address : に続けて現在の所属を記載する。
- 連絡先としてe-mailアドレスを記載することができる。

3. 要約

日本語原稿または英語原稿につける英語要約の長さは250語程度とし、英語原稿につける日本語要約は1,000字程度とする。また、改行せず、表、図、写真および数式を引用しない。

4. キーワード

論文の内容を適切に表現する語句を日本語原稿、英語原稿とも5語以内で記載する。

- (1) 日本語原稿は、英語要約（Summary）の後に英語キーワード（Key words）, 1頁の脚注に日本語キーワードを記載する。
- (2) 英語原稿は、英語要約（Summary）の後に英語キーワード（Key words）, 日本語要約の後に日本語キーワードを記載する。
- (3) 英語キーワード（Key words）はアルファベット順に記載する。日本語キーワードは英語キーワード（Key words）に対応した順で記載する。

5. 文献

文献の引用方法（文献のリストおよび本文中の引用ならびに注）は、（1）または（2）のいずれかを選ぶものとする。

- (1) 引用文献のリスト（雑誌の掲載論文、単行本、電子資料、学位論文の場合）は、次のように記載し、英数字、記号（カッコ、カンマ、ピリオド、コロン、ハイフンなど）は半角とする。

1) 雑誌の掲載論文の場合

著者名、発行年、表題、雑誌名、巻、引用頁（開始頁-終了頁）の順とする。

雑誌名は正式表記とし、号の表記は任意とするが、文献のリスト内で統一して記載する。doiは必要に応じて記載して構わない。

- 〔例〕 青葉 高 (1967) *Allium*属花きの種子発芽に及ぼす温度条件の影響. 園芸学会雑誌. 36: 333-338
- 〔例〕 斎藤昌幸, 金子弥生, 増田隆一, 園田陽一, 保坂哲朗 (2017) 都市における食肉目動物研究. 哺乳類科学. 57: 157-158
- 〔例〕 Schneider MJ, Troxler RF, Voth PD (1967) Occurrence of indoleacetic acid in the bryophytes. *Botanical Gazette*. 128: 174-179
- 〔例〕 Nabeshima T, Abe J (2021) High-throughput sequencing indicates novel varicosavirus, emaravirus, and deltapartivirus infections in *Vitis coignetiae*. *Viruses*. 13: 827. doi: 10.3390/v13050827

2) 単行本の場合

ア) 単著の場合

著者名，発行年，書名，発行所，引用頁（開始頁-終了頁）の順とする。

イ) 分担執筆の場合

著者名，発行年，章題名，書名，編集者名または監修者名，発行所，引用頁（開始頁-終了頁）の順とする。

- [例] 小川三四郎 (2007) 森林組合論—地域協同組合運動の展開と課題—。日本林業調査会. 153-160
- [例] Davidson G (1974) Genetic control of insect pests. Academic Press. 80-81
- [例] 程 為国 (2020) 土壌学の歴史. (改訂土壌学概論. 犬伏和之, 白鳥 豊 編). 朝倉書店. 173-180
- [例] Simms EL (1992) The evolution of plant resistance and correlated characters. (Insect-plant relationships. eds. Menken SBJ. *et al.*) Kluwer Academic Publishers. 15-16

3) 電子資料の場合

発信機関名，発信年，Webページの名前，URL の名前，閲覧年月日の順とする。

- [例] 環境省 (2022) 令和3年度 暑熱環境に対する適応策調査業務報告書。
https://www.env.go.jp/air/report/r03_01/post_4.html [2022年5月1日閲覧]
- [例] FAO (1999) Guidelines on social analysis for rural area development planning.
<http://www.fao.org/tc/Tca/pubs/tmap34/tmap34.htm> [2004年11月2日閲覧] (日本語原稿の場合) または[cited 2 November 2004] (英語原稿の場合)
- [例] 鶴岡市 (発信年不明) 学校給食の歴史—つるおかの給食—。
<https://www.city.tsuruoka.lg.jp/kyoiku/gakko/kyushoku/kyusyokunorekisi.html> [2022年5月31日閲覧]

4) 学位論文の場合

著者名，学位授与年，表題，学位論文，大学名，引用頁（開始頁-終了頁）の順とする。

- [例] 堀口健一 (2002) 第一胃刺激用具を投与した肉牛における反芻行動，第一胃性状および肥育成績に関する研究 (博士論文). 岩手大学. 158-163

5) 文献の記載順序

筆頭著者名のアルファベット順および発表年順に記載する。同一著者・同一発表年の文献の場合は，発表年の後にアルファベット (a, b等) を付けて区別する。

6) 本文中の引用

著者が2名までの場合は，著者の姓を記し，日本語原稿では「・」，英語原稿では「and」で結び，3名以上の場合は，筆頭著者のみの姓に，日本語原稿では「ら」，英語原稿では「*et al.*」を付ける。

〔例〕 青葉（1967）によれば・・・

〔例〕 田中・鈴木（2019）によれば・・・

〔例〕 高橋ら（2012a；2012b）は・・・

〔例〕 食料・農業・農村白書によると，食料自給率は・・・%（農林水産省 2021）である。

〔例〕 学校基本調査によると，過去5年間の全国の大学（学部）在学者数は，・・・人（文部科学省 2016）から・・・人（文部科学省 2021）へと推移している。

〔例〕 ……と報告されている（Schneiderら 1967；Simms 1992）

〔例〕 ……rice seeds are known to ……（Schneider *et al.* 1967；Simms 1992）

(2) 投稿論文の内容に最も関連する学術雑誌が定めた引用方法により統一する。

6. 図表

表，図および写真の枚数は必要最小限とし，大きさは仕上がり1頁（約17×22cm）に納まるものを限度とする。表，図および写真は一つずつ別紙に書き，挿入する箇所を原稿の右欄外に指示する。日本語原稿の表，図および写真の説明（Caption）は英語で記述してもよい。

- (1) 表は，原則として，罫線を最小限にとどめ，斜線をさけ，コンピュータソフトウェアで作成し，そのまま製版可能なようにする。各表の上欄に表番号（表1，表2等）と簡明な表題を付ける。
- (2) 図は，原則として，図中の文字，数字，軸の説明も含めてコンピュータソフトウェアで作成し，そのまま製版可能なようにする。各図の下欄に図番号（図1，図2等）と簡明な図題を付ける。
- (3) 写真は，原則として，コンピュータソフトウェアで作成し，そのまま製版可能なようにする。各写真の下欄に写真番号（写真1，写真2等）と簡明な写真題を付ける。

7. 原稿の提出について

原稿は，所定の「投稿連絡票」を添えて電子ファイル（PDFファイル）で，メール添付，電子媒体（CD-R，DVD-R等），ファイル送信サービス（NII Filesender等）等により提出する。

原稿の提出先：鶴岡キャンパス事務学務課図書担当

メールの場合：yu-notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp 宛

（令和5年2月28日 農学部図書館運営委員会）